

## 学校努力点テーマ 「育てよう生き生きと学ぶ松原っ子」

— よく知ること よく考えること よく表現することを通して —

※ 今年度は、「考えが深められるように」授業実践に取り組みます。

### 5年 国語科「考えを広げるために、立場を決めて話し合おう」の実践

「AIとの暮らし」というテーマで集まった利点や問題点について、自分の立場を明確にし、根拠をもって話せるように、自分の調べた情報を整理してまとめました。そして、ミニディベートを行い、相手の立場の考えを理解しながら、自分の考えの広げ方について考えました。

#### ○ よく考えるための手だて

##### ① 自分の考えをもつことができるように

前時、効果的なミニディベートを行っていたグループに、改めてミニディベートを行ってもらい、よかったところやこうするとよいところについての意見を発表させました。その意見を参考に、自分たちのミニディベートが、どうであったのかを考えさせました。

##### ② 対話をして、考えが深められるように

効果的なミニディベートを行っていたグループのよかったところやこうするとよいところを参考に、自分たちのミニディベートが、どうであったのか話し合いました。その話し合いでの意見を共有し、話し方に関わること、話す内容に関わることを分かるように板書をして、自分がどうしていくとよいのか、さらに考えさせました。

#### ○ 授業の様子（アンダーライン：今後の課題）

最初に、前時に行ったグループでのミニディベートについて、できていたこととできていなかったことについての確認をしました。

次に、前時、効果的なミニディベートを行っていたグループを代表に、改めてミニディベートを行ってもらいました。

（右上写真）代表グループは、それぞれの立場で準備した資料を見せて、自分の主張に説得力をもたせながら発表していました。



【代表グループによるミニディベートの様子】

発表を聞いた後で、代表グループのよかった点を挙げさせて、それを板書しました。その後、グループごとに自分たちの発表の仕方がどうだったかを話し合いました。（右下写真）よかった点は、「相手の質問や反論にきちんと答えることができた」、できなかった点は、「資料を用いてもっと説得力のある発表にすればよかった」などと気付きました。代表グループのよかった点を板書していたので、自分たちのグループと比較しながら話し合い、発表をすることができました。



【各グループの話し合いの様子】

発表された意見を「話し方に関わること」「話す内容に関わること」の観点で分けて板書しました。そして、さらに自分がどうしていくとよいのかを考えさせると、観点ごとに考えを整理しやすく、ミニディベートに対する自分の考えを深めることにつながりました。今後、子どもたちの意見で重要な部分については、色で強調して板書することで、その内容に着目して考えることができ、もっと自分の考えを深めることができると考えます。